

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年 4月17日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	換気空調系非常用ディーゼル発電設備(A)室送風機(A)電動機の点検において、反負荷側の軸受ケース(内径)と軸受(外径)の間隙が管理値(-0.006~0.034ミリ)に対し0.042ミリであることが認められたため、当該軸受ケースを点検・修理。	GIII	4月13日
2	1号機	換気空調系サービス建屋ホットラボ排気エアフィルター(B)差圧指示計(U41-DPI 361B)において、ホットラボ排風機の運転号機を(A)から(B)に切り替えた際に、当該差圧指示計の指示値がダウンスケール(指示値の目盛板下限値未満)していることが認められたため、当該差圧指示計を点検・修理。 なお、エアフィルター(B)の目詰まりを監視できないことから、ホットラボ排風機の運転号機は(A)に戻した。	GIII	4月13日
3	3号機	480V所内低圧電源設備配電盤(パワーセンター)3SA(キュービクル7C)において、静止型過電流継電装置(2)の電源ランプが点灯していないことが認められたため、当該装置を交換・修理。 なお、当該キュービクルの負荷である換気空調系サービス建屋ホットラボ排気ファン(A)は停止中であることから、当該キュービクルは制御電源を「切」、しゃ断器を「ラックアウト」位置とした。	GIII	4月14日